

科 目 名
選択外国語Ⅰ Selective Foreign LanguageⅠ (英 語)

3 年 前・後期 2 単位 選択

川 野 富 昭

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	f	建築構造コース		

【概 要】

この講義は15回の講義を3部に分けて(1)TOEICのReading及びListening Sectionの演習、(2)その応用編として洋画のシナリオ演習、(3)諸文献による英語圏の文化的背景をCD、DVDを併用して実践的応用力を養成する。講義への学生の積極的な演習活動を取り入れ、communication能力の向上を図る。

【到達度目標】

(1) 講義への学生の積極的な演習活動を取り入れ、communication 能力の向上を図る。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① Listening、Reading・1	Listening 教材演習①、Reading 教材①
② Listening、Reading・2	Listening 教材演習②、Reading 教材②
③ Listening、Reading・3	Listening 教材演習③、Reading 教材③
④ Listening、Reading・4	Listening 教材演習④、Reading 教材④
⑤ Listening、Reading・5	Listening 教材演習⑤、Reading 教材⑤、小テスト
⑥ 洋画シナリオ演習・1	英語版洋画シナリオ演習① Sequence 1, 2
⑦ 洋画シナリオ演習・2	英語版洋画シナリオ演習② Sequence 3, 4
⑧ 洋画シナリオ演習・3	英語版洋画シナリオ演習③ Sequence 5, 6
⑨ 洋画シナリオ演習・4	英語版洋画シナリオ演習④ Sequence 7, 8
⑩ 洋画シナリオ演習・5	英語版洋画シナリオ演習⑤ Sequence 9, 10、小テスト
⑪ 英語圏の文化的背景・1	英語圏の歴史と文化に関する英語の諸相①
⑫ 英語圏の文化的背景・2	英語圏の歴史と文化に関する英語の諸相②
⑬ 英語圏の文化的背景・3	英語圏の歴史と文化に関する英語の諸相③
⑭ 英語圏の文化的背景・4	英語圏の歴史と文化に関する英語の諸相④
⑮ 英語圏の文化的背景・5	英語圏の歴史と文化に関する英語の諸相⑤
	学生自身による自己評価

【授業方法】

①～⑤に於いてはTOEIC既出問題等、⑥～⑩はビデオ鑑賞により実践的な会話例を演習する。⑪～⑮は著名作家の演劇、紀行文をCD、VIDEO等で鑑賞し、その英語と英語圏の文化的背景を理解する。

【評価方法】

- 1) それぞれの分野に於いて平常テスト実施、レポート提出を求め、演習点を含めて総合点で評価する。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【教科書・教材】

TOEIC既出問題を抽出(新TOEIC Reading, Listening: ALC等)

ビデオとそのシナリオ (Casablanca)

J. M. Synge: Riders to the Sea, Aran Islands

科 目 名
選択外国語Ⅰ Selective Foreign LanguageⅠ (韓国語)

3年 前期 2単位 選択

申 明 直

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 2-(1), 3-(5)

建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	－	建築総合コース	選択	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	f, g	建築構造コース		

【概 要】

「韓国語Ⅰ」では、韓国語の「ハングル」の読み書き、簡単な会話を学ぶ。また、ハングルでインターネットの検索欄に入力し、自分で簡単な韓国関連の情報を調べられるようにする。韓国の歌などの文化を通し、韓国語を楽しく学ぶ。

【到達度目標】

- (1) 韓国語のハングル文字を読む。
- (2) 韓国語で簡単な挨拶や自己紹介ができる。
- (3) 韓国語によるインターネット検索や韓国の歌など韓国文化を理解する。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① ハングル練習 1 (母音①)	韓国語の基本母音字を学ぶ
② ハングル練習 2 (子音①)	韓国語の基本子音字を学ぶ
③ ハングル練習 3 (子音②)	韓国語の濃音を学ぶ
④ ハングル練習 4 (母音②)	韓国語の合成母音字を学ぶ
⑤ ハングル練習 5 (パッチム)	韓国語の終声：パッチムを学ぶ
⑥ 総合練習・中間テスト	
⑦ 第1課 (文型)	助詞 (～は/～も) の韓国語表現
⑧ 第1課 (会話)	「～です/～ですか」の韓国語表現と会話
⑨ 第2課 (文型)	助詞 (～も) と「これ/それ/あれ」の韓国語表現
⑩ 第2課 (会話)	「～ではありません」の韓国語表現と会話
⑪ 第3課 (文型)	「この/その/あの」と助詞 (～の) の韓国語表現
⑫ 第3課 (会話)	「だれですか」の韓国語表現と「家族」関連の会話
⑬ 第4課 (文型)	「位置」と「ここ/そこ/あそこ」の韓国語表現
⑭ 第4課 (会話)	「～に何がありますか」の韓国語表現と会話
⑮ 総合練習	簡単な自己紹介 学生自身による自己評価

【評価方法】

- 1) 課題、中間及び期末テストの成績を通じて総合的に判断する。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【教科書・教材】

テキストは Easy Korean Academy 著、『Easy Korean for foreignersⅠ』、Language Plus を使い、参考書は油谷幸利『朝鮮語入門』ひつじ書房、辞書は油谷幸利他編『朝鮮語辞典』小学館 (あるいは電子辞書) が好ましい。テキストの別売CDも参考にしてほしい。

【履修上の注意】

基礎ではなにより、復習が大事である。テキストと共に関連CDをよく聞いてCDと同じように言えるまで復習してもらいたい。また、ハングル文字は書きながら覚えるのが一番の近道である。インターネット、韓国の歌、映画などを利用することも良い方法の一つである。